

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会報

第565号

発行日 令和4年11月25日

担当校 島田市立島田第四小学校
〒427-0041

島田市中河町201番地

TEL 0547-37-0323

FAX 0547-39-5770

安心して自分をだせる 自分に自信をもてる場に

島田市立島田第四小学校 校長 郷 裕利子

本校は、島田市の中心に位置し、令和5年度に創立150周年を迎える歴史ある学校です。令和元年より校舎改築が始まり、令和3年に新校舎が完成しました。新校舎建築とともに島田市の通級指導教室も新たに開設されました。

島田市では、昭和46年に島田第一小学校に「ことばの教室」が開設され、通級指導が長年にわたって行われてきています。

平成19年には、同じ島田第一小学校に「いずみの教室（発達通級）」も新設されました。島田第一小学校に設置されていた伝統ある通級指導教室が、島田第四小学校の新しい校舎に移転してきました。本年度は、発達通級6教室、言語通級1教室、幼児ことばの指導に2教室で、合計200人近くの児童・園児が市内から通級してきています。通級指導は、市内では本校1校のため、保護者や児童の負担軽減を考え、サテライト方式も取り入れています。市内4小学校へ指導者が出向き、サテライト校で発達の通級指導を行っています。



先日、通級指導教室での授業を参観しました。個別指導のあと、二人のペアを組んで、話したり聴いたりして楽しむ「10のとびら」ゲームを行っていました。それぞれのお子さんのコミュニケーションの課題は全く違います。一人には「自分の思ったことを話す」力を求め、もう一人には「他者の気持ちや反応を意識しながら話す」力を求めていました。ペア活動の導入時に「気持ちよく上手な相談」について確認し、その後ゲームで実践していきます。指導者の工夫により、やるべきことが明確で、楽しみながら自分の課題を意識した活動ができました。最後の振り返りでは、お互いに「〇〇さんが聴いてくれたから話しやすかった」「△△さんが考えを言ってくれたおかげでゲームが成功した。仲間がいないとできなかつたと思う」とお互いを認め、自分の伸びを実感する発言を聴いて、とても嬉しくなりました。また、ある時の教室では、自分を客観的に見つめる活動をする中で、自分の強みや弱さに向き合っている姿がありました。

本校では学校教育目標「心豊かでたくましい子」を育成するために、必要な資質・能力を「自己理解」「協働性」「言語能力」として、日々の教育活動を進めています。通級指導教室での学びは、まさに本校の求める学びと成長を実現しています。

通級指導で学んでいる子供たちにとって、ありのままの自分を安心してだせる場であり、今の自分がどれだけ頑張っているかがわかり、自信をもてる場であるようこれからも研鑽を重ねていきたいと思えます。

「プレイルームはたのしいね」

「プレイルーム」は通級児たちのお気に入りの場所です。学習中にも使用しますが、指導前後に体を動かす子どもたくさんいます。一番人気は「トランポリン」。園児たちは「三輪車」や「すべり台」も大好きです。



「トランポリン」では回数だけでなく、様々な跳び方に挑戦します。子供たちからも新しい技を募集し、イラストにして表示しています。



プレイルームビンゴ








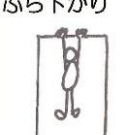

()

くさりばし 2かい 	てつぼう まわってくるん 	トランポリン 30かい 
キックボード 2しゅう 	すべりだい 3かい 	ぶらさがり 10かぞえ 
まといいれ 5かい 	さんりんしゃ 3しゅう 	へいきんだい あかきい2しゅう 

体ほぐしビンゴ

年 名前()

1 ビンゴできるようにやることをせんとくしましょう。

はこを頭にのせて 背筋ピン歩き 	足グーパーで 30回 ユニジャンプ 	紙風船テニス 30回 
ロープ クロスで またぐ 	両足そろえて ジャンプ3しゅう 	ほかほか言葉を言いながら コグトレ棒 2本 キャッチ 20回 
バランスボール 	ぶら下がり 15秒 	足じゃんけん 5回勝つ 

このプレイルームの遊具を使って9つの種目にチャレンジする『プレイルームビンゴ』を作成しました。また、中・高学年児童向けに『体ほぐしビンゴ』もあります。粗大運動を苦手とする児童だけでなく、「挑戦する」、「できるようになるまで努力する」、「できた喜びを実感する」ことにつなげていきます。